

令和 8 年度第 1 回 茨城支部評議会 議事概要（速報）

開 催 日	令和 8 年 7 月 22 日 水曜日 15 : 00～17 : 00
開 催 場 所	マイムビル 9 階 会議室
出 席 評 議 員	大谷評議員（オンライン）、岡本評議員、柴田評議員、田中評議員、中根評議員、谷萩評議員、葉評議員（五十音順）
事 務 局	支部長、企画総務部長、業務部長、企画総務グループ長、保健グループ長、業務グループ長、レセプトグループ長、保健専門職、企画総務主任、企画総務一般職
議 題	1. 令和 7 年度決算（見込み）について 2. 令和 7 年度茨城支部事業報告について 3. 令和 7 年度茨城支部保険者機能強化予算の執行状況について 4. 中期戦略プランについて 5. 都道府県単位保険料率に関する措置について
議 事 概 要 (主な意見等)	1. <u>令和 7 年度決算（見込み）について</u> 資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。 【学識経験者 A】 資料 1 より、協会けんぽの決算の内訳から収入増加の要因として被保険者数の増加が挙げられているが、短時間労働者の適用も増え、保険料負担の低い加入者からの医療費が増えていけば今後収支の悪化の要因になりうるのか。 【事務局】 短時間労働者が健康保険に適用されることは、収入の増加要因である一方で、支出の増加要因の一つになり得ると捉えている。短時間で働いている方は、比較的報酬が低い方が多いと想定されるが、一方で、医療費の水準が平均的であるとする、収入よりも支出の方が大きくなり、協会の財政にはマイナスの影響が大きいのではないかと考えられる。 【学識経験者 B】 茨城支部の収支における地域差分の評価について、医療費の伸びを抑えたことによる将来の保険料率の伸びを抑えられたことを加入者や事業主に対しどのように健康増進への動機付けにつなげていく予定なのか 【事務局】

医療費の伸びを抑えていただいたことにより、将来の保険料率の伸びが抑えられたことを加入者の皆様に丁寧に周知をおこない、今後の加入者や事業主の皆様の行動変容を促していきたいと考えている。

2. 令和7年度茨城支部事業報告について

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【被保険者代表 C】

債権回収率における返納金債権についてどういった事例があるのか。

【事務局】

主なものは、資格喪失後の受診をした際の医療費である。他に業務上や通勤災害に該当しているにもかかわらず健康保険を使用した場合などがあげられる。

【事業主代表者 D】

従業員の退職に伴う健康保険の資格喪失の手続きの最中に健康保険を使用するケースが考えられるため、資格喪失の情報がすぐに年金機構や協会けんぽに共有できるようなシステムがあると資格喪失後受診による返納金債権が少なくなると思う。

【事務局】

資格喪失後受診は、マイナ保険証への切り替わりが進むことにより、退職後も保険証を提示して使い続けてしまうといった事例は減少していくと思われるが、事業主からの申請の遅れによる影響は引き続き存在するので、従業員の資格喪失のお手続きを速やかに日本年金機構に届け出ていただくようお願いしたい。

【事業主代表者 E】

被扶養者の特定保健指導実施率が低いため今後も力を入れていってほしい。

【事務局】

今年度は、協会主催の集団健診を上期および下期に開催し、被扶養者の健診受診の機会を拡大する。集団健診当日の初回面談実施が徹底できるように健診機関へ働きかけを行い、特定保健指導実施率の向上につなげていきたい。

【被保険者代表 F】

被扶養者の特定保健指導の中断率が高かった原因は把握しているのか。

【事務局】

初回面談時の対象者への動機づけが弱いことが原因のひとつ。支部保健師から健診機関に対して働

きかけを行ない、特定保健指導の継続率の向上につなげていきたい。

【学識経験者 G】

水戸市の小学校で健康教育を実施されたが他の小学校等での実施拡大は検討しているのか。

【事務局】

令和 8 年度について、水戸市では実施する小学校の選定中であり、日立市ではすでに小学校での実施が予定されている。

3. 令和 7 年度茨城支部保険者機能強化予算の執行状況について

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【学識経験者 A】

ジェネリック医薬品の使用促進広報について、事業を実施するということはまだまだ使用率が低いのか。

【事務局】

ジェネリック医薬品の使用状況について約 90%達成している状態であるため、数字だけ見るとまだ 10%近くの方がジェネリック医薬品に切り替えていない状況である。国の医療費適正化計画の中でも後発医薬品の使用促進の方針があるため協会けんぽでも引き続き使用促進広報を実施していく。

【事業主代表者 E】

予算の執行について、執行しなかった予算については他の事業への流用や、新しく事業を立案し使用しているのか。

予算執行額の大きい事業においては事業における効果検証などは行っているのか。

【事務局】

使用しなかった予算については他の事業に振り分けて使用している。

事業の内容にもよるが、広報事業においては効果検証として閲覧数やクリック数などの結果を確認している。

【事業主代表者 H】

LINE の公式アカウントについて現在の登録者数はどれくらいなのか。

ジェネリック医薬品の使用促進について LINE を使用した広報は実施しないのか。

【事務局】

現在の茨城支部公式アカウントの登録者数はブロックしている人を含め約 1,400 人である。

登録者数が少ないためまずは登録者を増やすところから進めていきたいと考えている。

4. 中期戦略プランについて

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【学識経験者 B】

中期戦略プラン策定にあたり、支部で議論が行われているとのことだが、議論の内容が加入者や事業主にどのように反映される想定なのか、また実際にどのような意見が出たのか。

【事務局】

6 月から議論を開始し、AI やデジタル技術の更なる活用など多くの職員から意見が出ている。これから議論の内容をまとめていくところであり、茨城支部の現状および支部の強みと弱みを把握したうえで計画を立てていく。

5. 都道府県単位保険料率に関する措置について

資料に基づき説明し、評議員よりご意見いただいた。

【学識経験者 B】

今回の平準化措置について、調整額が翌年度に引き継ぐ関係上負担額が中長期的に出てくると思われるが、茨城支部の財政状況についてどのような影響があると考えているか
保険料率の抑制に対し様々な取り組みを行っているが、茨城支部としてどのように評価しどのように活用していくと考えているか。

【事務局】

特例措置該当支部での調整となり、他の支部へ影響を波及させない設定となっているが、今後の動向については注視していきたい。

特例的な取扱いについてはまだ評価はできないが、茨城支部として保健事業に取り組み医療費の抑制を進めていき保険料率の伸びを抑えていく次第である。

特 記 事 項
・傍聴者：1 名（茨城新聞社） ・次回（令和 8 年度第 2 回）は、令和 8 年 10 月に開催予定